株式会社オリエンタルコンサルタンツ

令和８年８月 31 日
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
代表取締役社長　野崎　秀則

令和７年度全建賞を受賞

地域の営農環境と沿道集落に配慮した道路計画・設計
～銚子連絡道路二期区間～

株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）が計画・設計等に関わった「銚子連絡道路二期区間（国道126号 山武東総道路二期区間）」が、一般社団法人全日本建設技術協会の令和７年度全建賞を受賞いたしました。

【事業概要】

本事業は、山武市と銚子市を結ぶ高規格道路「銚子連絡道路」のうち、横芝光 IC から匝瑳 IC までの延長約５km を整備したバイパス事業で、令和６年３月 31 日に開通したものです。

本事業の特徴として、路線の大部分が農業振興地域を通過するため、地元地区や関係機関との協議を重ね、横断する農耕車の安全を確保できるよう函渠を設置可能な高盛土構造を採用するなど、営農環境への影響をできる限り抑えた点が挙げられます。

また、沿道集落では、地元協議や住民意見を踏まえ、風通しや地域内道路・農道の利用に配慮した高架構造を採用し、地域の営農環境と生活環境の保全を図りました。

【当社の関わり】

このように、営農環境や沿道集落の生活環境に配慮した道路整備を実現するため、道路、橋梁、道路附帯構造物等の計画・設計が行われました。当社は、そのうち、営農農地への影響を抑える道路構造の検討や、沿道集落に配慮した高架区間の比較検討を行い、道路や道路附帯構造物の設計に携わったものです。

全建賞とは

全建賞は、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられたものです。昭和28年（1953年）の全建賞創設以来、日本の社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備や、その時々の国民ニーズに沿った幾多の取り組みに授賞がなされてきました。

https://www.zenken.com/hypusyou/hyousyou.html

【全建賞審査委員会の評価ポイント】

高規格道路の整備に当たり、路線の大部分が農業振興地域を通過するため、地元地区や関係機関との協議を重ね、周辺の営農環境にできるだけ影響を与えないよう配慮しながら事業を推進するとともに、JR 総武本線等を跨ぐ宮川跨線橋の架設に際して鉄道事業者等と綿密な協議・調整を行い、工事を完成させた点が評価された。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551　FAX: 03-6311-8011
https://www.oriconsul.com/
統括本部　伊藤・日原・丸山・門司

令和７年度全建賞（一般枠 道路部門）

□ 事業名　：銚子連絡道路二期区間（国道126号　山武東総道路二期区間）

□ 受賞機関：千葉県海匝土木事務所　千葉県道路公社

□ 賛助会員：昭和コンクリート工業(株)、ピーエス・コンストラクション(株)、(株)安部日鋼工業、
(株)横河ブリッジ、(株)オリエンタルコンサルタンツ、開発虎ノ門コンサルタント(株)、
中央コンサルタンツ(株)、大日本ダイヤコンサルタント(株)、いであ(株)、
(株)千代田コンサルタント